

明かりをつける

壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯(ラストメモリー)
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。



ラストメモリー点灯
前回点灯時の状態で点灯させます。
※常夜灯の明るさも前回点灯時の状態で点灯します。

壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。

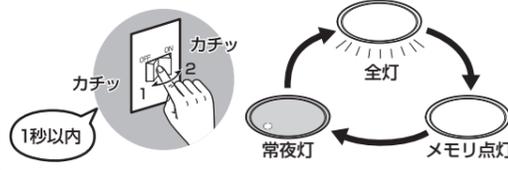


ご注意

壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



■明るさを記憶させる

メモリ設定ボタン

設定した明るさを記憶させます。ボタンを押すと、「ピピッ」と音がします。メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチを切り替えたりすると再現できます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明かりをつける

メモリ点灯/常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。

全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。



■明るさを調べる

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階(常夜灯は2段階)
調光範囲を超えると、「ピピッ」と音がします。

調光ボタン [明るい]

明かりを1段階明るくします。長押しで連続調節できます。

調光ボタン [暗い]

明かりを1段階暗くします。長押しで連続調節できます。
※常夜灯の明るさの調節
常夜灯の状態では調光ボタンを押して明るさを調節します。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯したときは、記憶された明るさで点灯します。

■タイマー機能を使う

※別紙「リモコンで操作する」の「タイマーの使いかた」を参照してください。

おやすみボタン

就寝時などに1回だけ消灯できます。

るすばんボタン

留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します。

点灯タイマーボタン

起床時などに1回だけ点灯できます。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。 リモコンの電池が消耗している。 照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	電池を正しく入れてください。 新しい電池に交換してください。 「チャンネル切り替えについて」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONにしても点灯しない	本体が「消灯」状態になっている。	「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。 壁スイッチを切るか、リモコンのメモリ設定ボタンとおやすみボタンを同時に7秒以上押し、試験点灯モードを解除してください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

警告 ご自分での分解・修理・改造はおやめください。



ECOHiLUX
エコハイルクス

LEDシーリングライト

CL8D-5.0CF/CL12D-5.0CF/CL14D-5.0CF

共通取扱説明書

保管用

本編

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味

- ⚠ 注意を示す記号です。
- 🚫 禁止を示す記号です。
- ❗ 必ず行うことを示す記号です。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

🚫	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
🚫	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。
🚫	可燃物で覆わない 可燃物を被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。
🚫	取り付けできない天井・配線器具に取り付けない 「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けしないでください。落下・感電・火災などの原因になります。
❗	取り付けは確実に 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。
❗	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
❗	交流100Vで使用する 火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
❗	清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

🚫	LED光源を直視しない 目を傷める原因になることがあります。
🚫	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になることがあります。
🚫	破損した場合は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理を依頼してください。
🚫	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になります。
🚫	屋外や湿気が多い場所で使用しない 故障や感電の原因になります。
🚫	水洗いしない 火災・感電の原因になります。 「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。
🚫	薬品を使用しない 変形・火災の原因になります。 殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。
❗	1年に1回は自主点検を実施する 長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。 設置後8~10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)

るすばん機能についてのご注意

- るすばん機能を設定することにより、自動で点灯・消灯します。留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。損害が発生しても責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 製品の仕様上、長期間るすばん機能を使うと点灯・消灯時間が大きくずれる場合がありますので、定期的な再設定をおすすめします。
- 壁スイッチを切ったり停電したりすると、るすばん機能は解除されます。

ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。

- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。るすばん機能を設定していない状態で長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED光源には、ばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがあることがあります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。

仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CL8D-5.0CF	40W	4000lm (最大点灯時)	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ560 × H93 mm	約1.8kg
CL12D-5.0CF	52W	5200lm (最大点灯時)					
CL14D-5.0CF	50W	5800lm (最大点灯時)					

※LEDモジュール寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推定したもので、製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール

0800-170-7070

受付時間 平日9:00~17:00、土・日・祝日9:00~12:00 / 13:00~17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください

取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

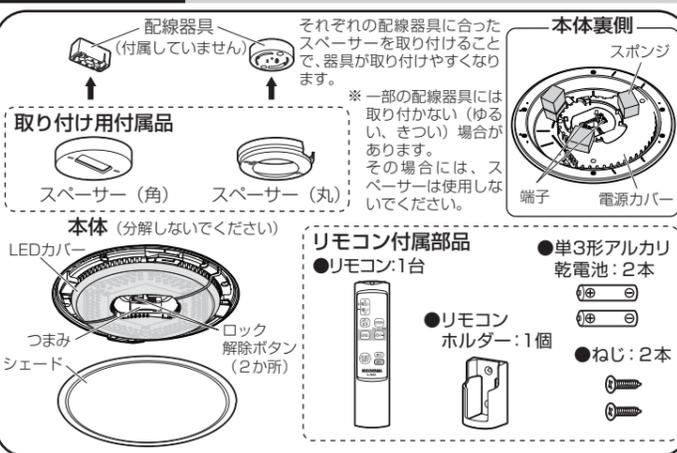
次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工務店に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)



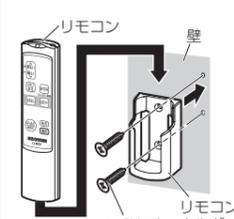
各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。



リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
※収納した状態では操作しないでください。



乾電池の入れかた

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる
2 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用した場合、約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
●電池を交換するときは、2本とも新品の単3形アルカリ乾電池に交換してください。
●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
●長時間使用しない場合は電池を取り出して保管してください。

チャンネル切り替えについて

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON(入)になっていることを確認してから、切り替えてください。

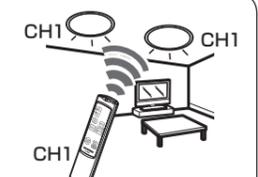
リモコンの裏カバーを外します。リモコンを本体に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを切り替えてください。

チャンネル(ch)が切り替わると、本体から音がします。チャンネル1(ch1)に切り替え:「ピッ」チャンネル2(ch2)に切り替え:「ビッ」

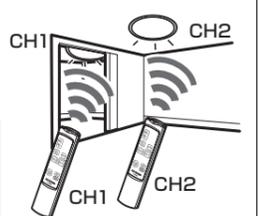
リモコンのボタン(切/入など)を押し、操作出来ることを確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。



●複数の器具を1つのリモコンで操作する場合
隣接する器具を同じチャンネルに設定します。
※器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



●近くの器具を別々のリモコンで操作する場合
隣接する器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



●ご注意
別の器具がリモコンの信号を受けると、チャンネルの設定が変わってしまいます。設定を変更したい器具だけが信号を受けられるようにリモコンを向け設定してください。
※個別の壁スイッチがあれば片方をOFF(切)にしたり、間に扉があれば扉を開けたりすると効果的です。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

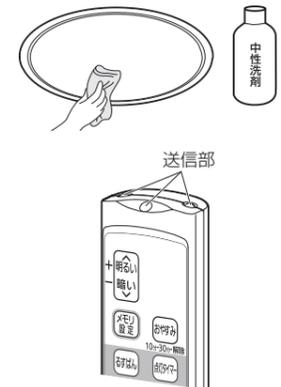
●必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因となります。
●消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る
2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。



●絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

取り付け

警告 取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

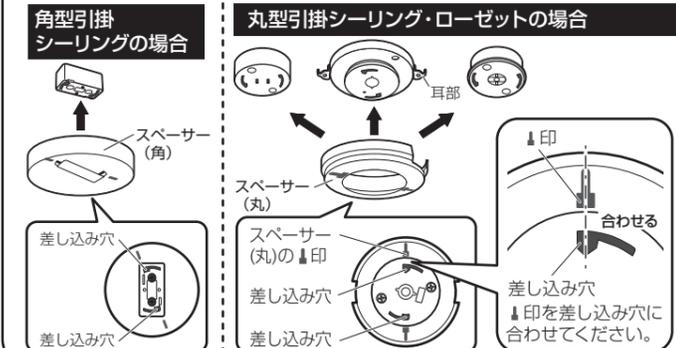
注意 高所での作業になります。必ず足元の安全を確認してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工務店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し高	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満
形状	角型引掛シーリング 丸型引掛シーリング・ローゼット	埋込引掛ローゼット
＜側面図＞	天井からの出し高 配線器具	
	※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。	

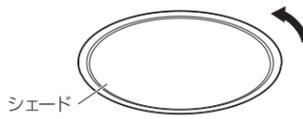
2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)
※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。



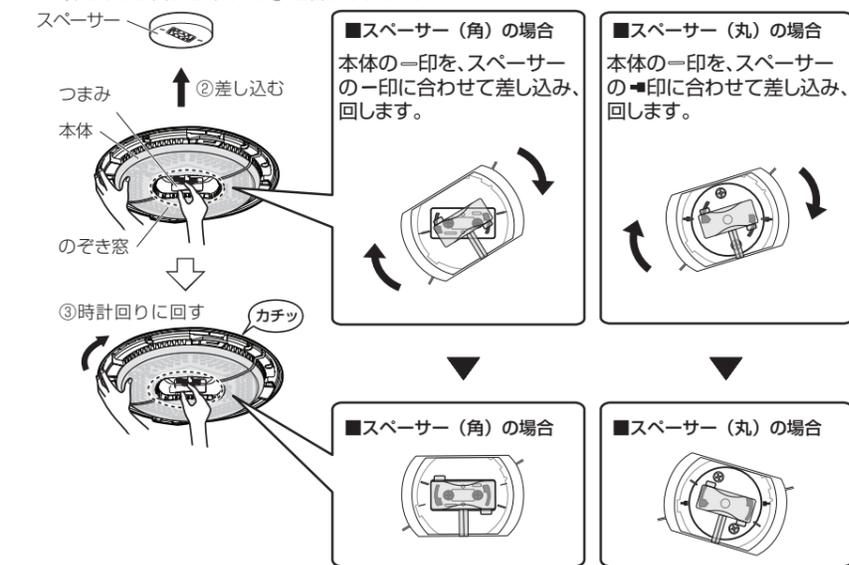
3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



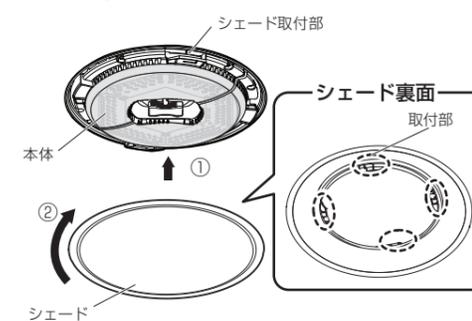
4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン(「取り外し」参照)は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。



5 シェードを取り付ける

①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



注意 本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

警告 シェードは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

本体がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



取り外し

警告 ●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

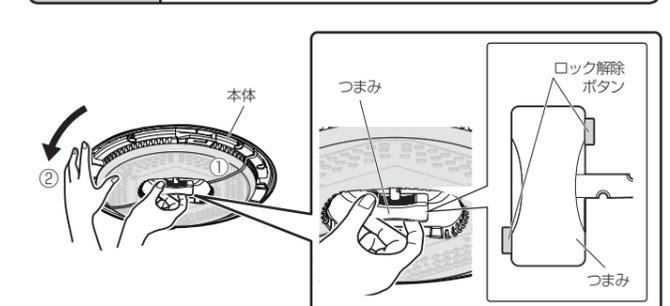
1 シェードを取り外す
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



2 本体を取り外す

①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ共押ししながら、
②反時計回りに回して本体を外してください。

注意 本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。



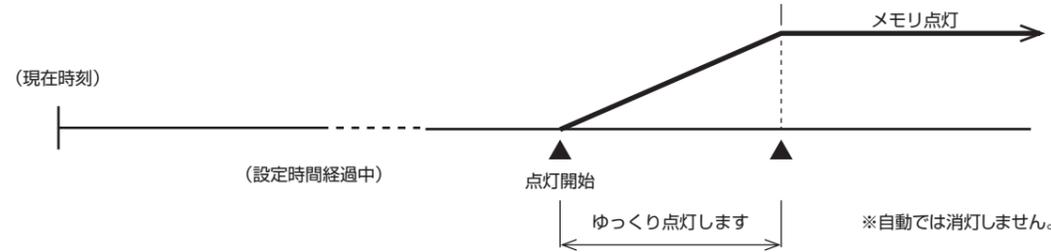
3 スペーサーを取り外す

注意 本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。



■点灯タイマーを使う

1回だけ、設定した時間にゆっくりと点灯します。



おしらせ

- 点灯タイマーは1回だけ動作(メモリ点灯)するものです。るすばん機能のように自動消灯はせず、点灯したままになります。(るすばん機能も設定されている場合には、その消灯時刻に消灯します。)
- 点灯タイマーで点灯するか、解除されると、設定時間もリセットされます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、点灯タイマーは解除されます。(設定時間もリセットされます。)
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままピピッと音がして警告します。
※このときの設定時間は、1時間または24時間です。

注意

- 点灯タイマーとおやすみタイマーは、同時に使えません。どちらかあとから設定した方が動作します。
- 点灯タイマーで点灯した場合、消灯するには、リモコンで消灯してください。壁スイッチを切っても消灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されます。

設定方法

- 点灯タイマーを設定するときは、1分以内に設定を完了(点灯タイマーボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 点灯タイマーボタンを1回押しただけでは動作しません。必ず時間を設定してから、もう1回押ししてください。
- 設定操作中に、点灯タイマー、+ / 明るい、- / 暗い以外のボタンを押すと、点灯タイマーの設定を中止します。

①点灯タイマーボタンを1回押す

点灯タイマーを1回押す

点灯タイマーを設定する状態になります。

②+ / 明るいボタンを点灯タイマーで点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

+ / 明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つづけて押す

押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数- / 暗いボタンを押して戻るか、点灯タイマーボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。
※点灯タイマー、+ / 明るい、- / 暗いボタン以外のボタンを押した場合は、点灯タイマーの設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

押すたびに音がします。

③もう1回点灯タイマーボタンを押す

点灯タイマーを1回押す

点灯するまでの時間数と同じ回数の音がします。

ピーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ピッと確認のための音がして、設定が完了し、通常の状態に戻ります。

④常夜灯を点灯させるか、消灯ボタンを押して消灯させる

メモリ点灯/常夜灯を押す

常夜灯を点灯させます。

あるいは

消灯を1回押す

消灯させます。

解除方法

点灯タイマーボタンを長押しする

点灯タイマーを長押しする

ピッと音がして、しばらくしてからピーと音がすると、点灯タイマーが解除されます。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明るさを記憶させる

メモリ設定ボタン

設定した明るさを記憶させます。ボタンを押すと、「ピピッ」と音がします。メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチを切り替えたりすると再現できます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階(常夜灯は2段階)
調光範囲を超えると、「ピピッ」と音がします。

調光ボタン [明るい]

明かりを1段階明るくします。長押しで連続調節できます。

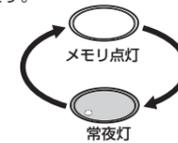
調光ボタン [暗い]

明かりを1段階暗くします。長押しで連続調節できます。
※常夜灯の明るさの調節
常夜灯の状態では調光ボタンを押して明るさを調節します。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯したときは、記憶された明るさで点灯します。

■明かりをつける

メモリ点灯/常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。



全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。

■タイマー機能を使う

※詳細は、「タイマーの使いかた」を参照してください。

おやすみボタン

就寝時などに1回だけ消灯できます。

るすばんボタン

留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します。

点灯タイマーボタン

起床時などに1回だけ点灯できます。

タイマーの使いかた

次の3つのタイマーがあります。

るすばん機能	おやすみタイマー	点灯タイマー
留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します	就寝時などに1回だけ消灯できます	起床時などに1回だけ点灯できます

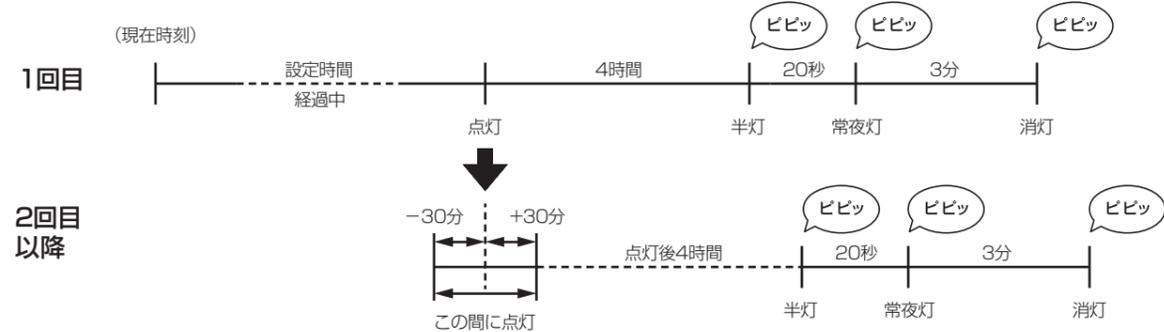
※ るすばん機能は他のタイマーと組み合わせて使えますが、おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時に使えません。

■るすばん機能を使う

毎日繰り返し、ほぼ24時間毎に1回メモリ点灯し、4時間後に消灯します。期間を決めて動作させることはできません。2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。

⚠注意

- 器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。万が一被害にあわれても、責任は一切負いかねます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- 全灯中やシーン点灯中にるすばん機能による点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態点灯し続けます。
- るすばん機能より、おやすみタイマーあるいは点灯タイマーの設定が優先されます。
- 製品の仕様上、長期るすばん機能を使うと点灯・消灯時間が大きくずれる場合があります。1週間ごとの再設定をおすすめします。



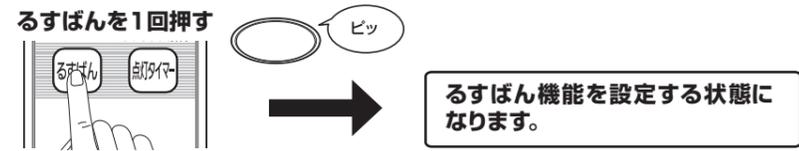
※半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。
 ※常夜灯点灯中に消灯するときはビビッと音がしてお知らせすると共に、常夜灯(3分)→消灯と段階的に変化します。
 ※消灯したくない場合は、変化しているときに好みの点灯状態にしてください。

設定方法

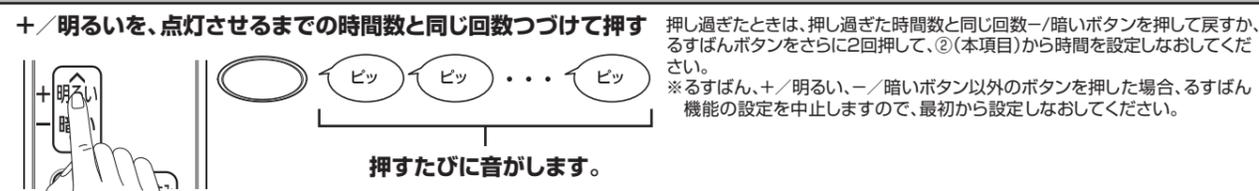
おしらせ

- るすばんボタンを1回押しただけでは動作しません。必ず、時間を設定してから、もう1回押してください。
- るすばん機能を設定するときは、1分以内に設定を完了(るすばんボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままビビッと音がして警告します。(このときの設定時間は、1時間または24時間です。)
- 設定操作中に、るすばん、+ / 明るい、- / 暗い以外のボタンを押すと、るすばん機能の設定を中止します。

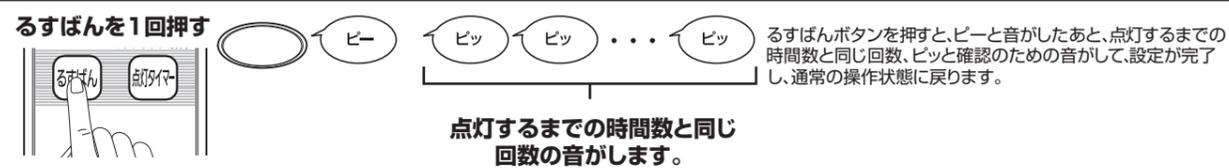
①るすばんボタンを1回押す



②+ / 明るいボタンをるすばん機能で点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

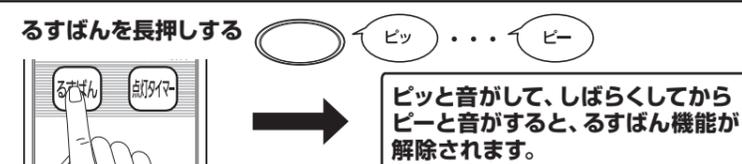


③もう1回、るすばんボタンを押す



解除方法

るすばんボタンを長押しする



⚠注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- るすばん機能が解除されると設定時間(2回目以降は設定時刻)もリセットされます。

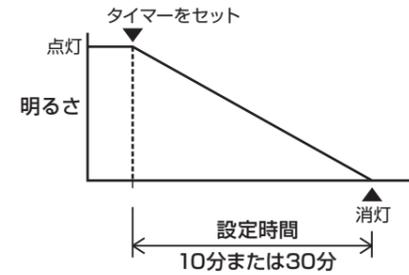
■おやすみタイマーを使う

設定後、徐々に暗くなり、設定時間(10分または30分)で消灯します。

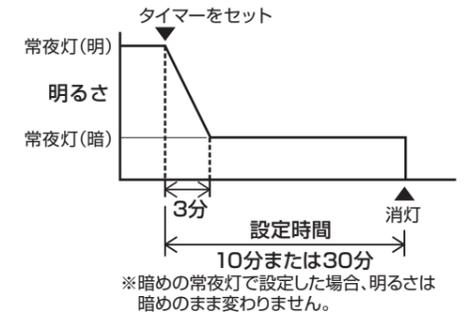
注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。どちらかあとから設定した方が動作します。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯するには、リモコンで点灯してください。壁スイッチを短く(1秒以内)入切させて点灯させることもできますが、このときは、るすばん機能も解除されます。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉

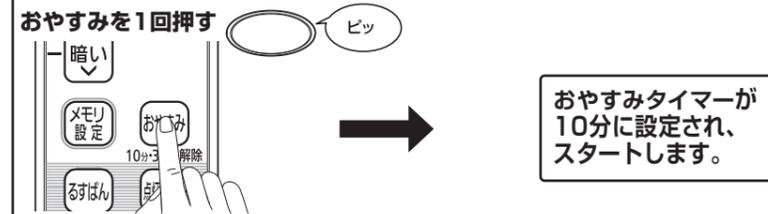


〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉

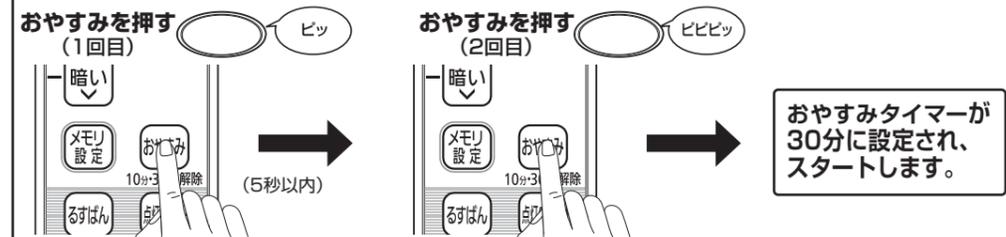


設定方法

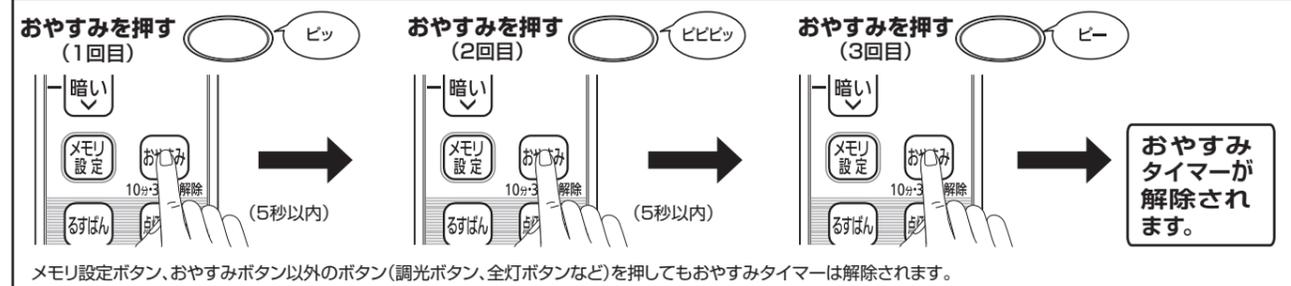
おやすみタイマー10分：おやすみボタンを1回押す



おやすみタイマー30分：おやすみボタンを2回押す



おやすみタイマー解除：おやすみボタンを3回押す



おやすみタイマー再設定：おやすみボタンを1回または2回押す

